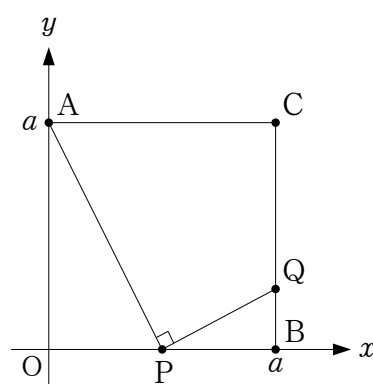


1 正の定数  $a$  に対して、3点  $A(0, a)$ ,  $B(a, 0)$ ,  $C(a, a)$  をとる。線分  $OB$  上の点  $P(t, 0)$  と線分  $BC$  上の点  $Q$  において、

$$\angle APQ = 90^\circ$$

が成り立つとき、次の問に答えよ。ただし、 $0 < t < a$  とする。

- (1) 三角形  $PBQ$  の面積  $S$  を  $a$  と  $t$  を用いて表せ。
- (2)  $S$  の最大値とそのときの  $t$  の値を  $a$  を用いて表せ。



(佐賀大学 2017)

2  $a$  は 0 でない実数とし、関数  $f(x) = x^3 + \frac{3}{2}(a^2 - 2a)x^2 + 3(a^2 - a^3)x + 5a^3$  の極小値を  $m$  とする。

(1)  $m = -\frac{\text{ア}}{\text{イ}}a^{\text{ウ}} + \text{エ}a^{\text{オ}}$  である。

(2)  $m$  は  $a = \text{カ}$  のとき、最大値  $\frac{\text{キク}}{\text{ケ}}$  をとる。

(3)  $a$  が (2) の値のとき、 $f(x)$  は  $x = \text{コサ}$  で、極大値  $\text{シスセ}$  をとる。

(北海道薬科大学 2017)

3  $a \geq 0$  を満たす実数  $a$  に対して、関数

$$f(t) = t^3 - 6t^2 + 9t$$

の  $-1 \leq t \leq a$  における最大値を  $g(a)$  とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $g(2)$  と  $g(5)$  を求めよ。
- (2)  $0 \leq x \leq 5$  の範囲で  $y = g(x)$  のグラフの概形をかけ。
- (3)  $y = g(x)$  のグラフと  $x$  軸および直線  $x = 5$  で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ。

(和歌山大学 2016)

4 実数  $a$  に対して、関数  $f(x) = x^4 + \frac{8}{3}ax^3 - 2x^2 - 8ax$  が  $x = X$  で極大値  $Y$  をとるとする。 $a$  の値が変化するとき、点  $(X, Y)$  が描く軌跡を図示せよ。

(東京学芸大学 2016)

2016年文系第4問

4  $a \geq 0$  を満たす実数  $a$  に対して、関数

$$f(t) = t^3 - 6t^2 + 9t$$

の  $-1 \leq t \leq a$  における最大値を  $g(a)$  とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $g(2)$  と  $g(5)$  を求めよ。  
 (2)  $0 \leq x \leq 5$  の範囲で  $y = g(x)$  のグラフの概形をかけ。  
 (3)  $y = g(x)$  のグラフと  $x$  軸および直線  $x = 5$  で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ。

$$\begin{aligned} (1) \quad f'(t) &= 3t^2 - 12t + 9 \\ &= 3(t^2 - 4t + 3) \\ &= 3(t-3)(t-1) \end{aligned}$$

$t$	...	1	...	3	...
$f'(t)$	+	0	-	0	+
$f(t)$	↗	4	↘	0	↗

∴  $y = f(t)$  のグラフは増減表より  
右のようになる。

$$\text{よって、} \underline{g(2) = 4, g(5) = 20} //$$

$$(2) \quad 0 \leq x < 1 \text{ のとき、} g(x) = f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x$$

$$\begin{aligned} f(t) = 4 &\Leftrightarrow t^3 - 6t^2 + 9t - 4 = 0 \\ &\Leftrightarrow (t-1)^2(t-4) = 0 \\ &\Leftrightarrow t = 1, 4 \end{aligned}$$

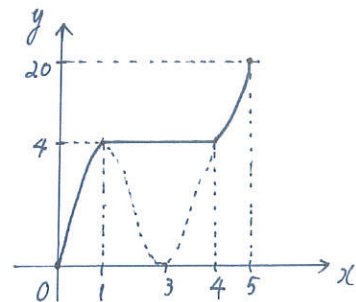
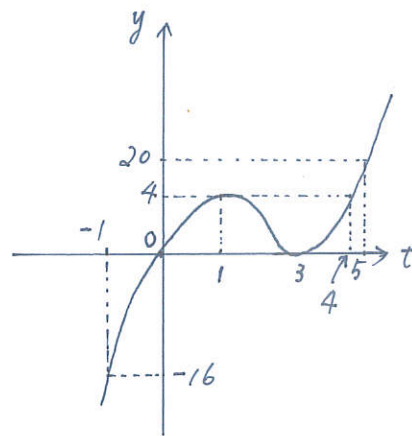
$$\therefore 1 \leq x < 4 \text{ のとき } g(x) = 4$$

$$4 \leq x \leq 5 \text{ のとき、} g(x) = f(x) = x^3 - 6x^2 + 9x$$

以上より、 $y = g(x)$  のグラフは右のようになる。

$$(3) \quad S = \int_0^1 x^3 - 6x^2 + 9x \, dx + 3 \cdot 4 + \int_4^5 x^3 - 6x^2 + 9x \, dx$$

$$\begin{aligned} &= \left[ \frac{x^4}{4} - 2x^3 + \frac{9}{2}x^2 \right]_0^1 + 12 + \left[ \frac{x^4}{4} - 2x^3 + \frac{9}{2}x^2 \right]_4^5 \\ &= \frac{11}{4} + 12 + \frac{43}{4} = \underline{\underline{\frac{51}{2}}} // \end{aligned}$$



2016年 第3問

3 実数  $a$  に対して、関数  $f(x) = x^4 + \frac{8}{3}ax^3 - 2x^2 - 8ax$  が  $x = X$  で極大値  $Y$  をとるとする。  $a$  の値が変化するとき、点  $(X, Y)$  が描く軌跡を図示せよ。

$$\begin{aligned} f'(x) &= 4x^3 + 8ax^2 - 4x - 8a \\ &= 4x^2(x+2a) - 4(x+2a) \\ &= 4(x+1)(x-1)(x+2a) \end{aligned}$$

$$\therefore f'(x) = 0 \text{ となるのは } x = \pm 1, -2a$$

(i)  $-2a < -1$  すなわち  $a > \frac{1}{2}$  のとき。

$x$	...	$-2a$	...	$-1$	...	$1$	...
$f'(x)$	-	0	+	0	-	0	+
$f(x)$		↓		↑		↓	↑

右の増減表より、 $x = -1$  で極大値  $1 - \frac{8}{3}a - 2 + 8a = \frac{16}{3}a - 1$  をとる。 極大

$$\text{よって、 } X = -1, Y = \frac{16}{3}a - 1 \text{ 軌跡は } X = -1 \text{ (ただし、 } Y > \frac{5}{3} \text{)}$$

(ii)  $-1 < -2a < 1$  すなわち、 $-\frac{1}{2} < a < \frac{1}{2}$  のとき。

同様にすると、 $x = -2a$  で極大値  $f(-2a) = 16a^4 - \frac{64}{3}a^4 - 8a^2 + 16a^2 = -\frac{16}{3}a^4 + 8a^2$  をとる。

$$\text{よって、 } X = -2a, Y = -\frac{16}{3}a^4 + 8a^2 \text{ 軌跡は } Y = -\frac{1}{3}x^4 + 2x^2 \text{ (} -1 < x < 1 \text{)}$$

(iii)  $-2a > 1$  すなわち  $a < -\frac{1}{2}$  のとき

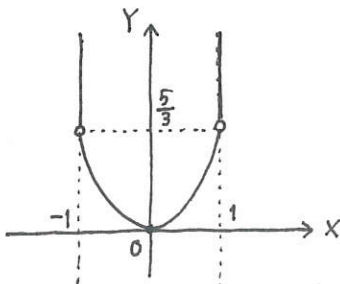
同様にすると、 $x = 1$  で極大値  $f(1) = 1 + \frac{8}{3}a - 2 - 8a = -\frac{16}{3}a - 1$  をとる

$$\text{よって、 } X = 1, Y = -\frac{16}{3}a - 1 \text{ 軌跡は } X = 1 \text{ (ただし、 } Y > \frac{5}{3} \text{)}$$

(i) ~ (iii) と  $g(x) = -\frac{1}{3}x^4 + 2x^2$  において  $y = g(x)$  のグラフをかきことで  $(X, Y)$  が描く軌跡がえられる

$$g'(x) = -\frac{4}{3}x^3 + 4x = -\frac{4}{3}x(x^2 - 3) = -\frac{4}{3}x(x - \sqrt{3})(x + \sqrt{3})$$

$x$	$(-\sqrt{3})$	...	0	...	$(\sqrt{3})$
$g'(x)$		-	0	+	
$g(x)$	$(\frac{5}{3})$	↓	0	↑	$(\frac{5}{3})$



$\therefore$  求める軌跡は上のようになる (白丸は除く)